

自分のイメージを創意工夫を生かして表現するためには、個人での反復練習はもちろん、アンサンブル等では他者との調和を意識して演奏する技能、完成も必要です。

教科名	芸術	科目名	美術 I □必修 ■選択	学年	1 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	美術 1 (光村図書出版)			使用教室	美術室		
学習の 目標	美術の目標としては何を目的として学び、感性、美意識、想像力を働かせ、対象、事物を造形的な視点で捉え自分としての意味、価値を作り出すなど造形的な見方、考え方を働かせ美的体験を重ね、生活、社会の中の美術文化と深く関わる資質、能力を育成することを重視し、芸術、美術の育成、能力を重視する						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 □定期考査 □小テスト ■授業プリント ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション=講評・制作作品発表) ■その他 (レタリング、デッサン、造形表現鑑賞)					
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技能	造形的な視点を豊かにするために必要な知識と教養、表現における創造的に表す技能に関する内容等を観点とする。			
		b	思考・判断・表現	表現における発想、構想と鑑賞における見方、感じ方に関する事柄を観点とする。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	学習を主体的に取り組む態度、生涯に渡り、美術を愛好する心情豊かな感性などに関わる事項を観点とする。			
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1～10の10段階) にまとめます。						
学期	月	学習項目・題材	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	オリエンテーション	・学習方法の把握、学習方法の確認。	□定期考査			
	5	美術分野 (用具、用材)	・「美術」への理解を深め、認識出来るようにする。	□小テスト			
	6	・ブッシュステンド	・美術分野の用具、用材、理解と学習方法の把握。	□ノート			
	7	・用具の使い方、構成 調和、作品の鑑賞 制作と講評 ・コラージュ	・ブッシュステンドについての理解、用具、知識。 構成まとめ (ステンドガラスデザイン、文様) 意匠の工夫知識、構成、仕上げ、まとめ。 ・画面構成、著作権の理解	■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他	a	b	c
2	9	・ポスターデザイン (啓発ポスター)	・平面 (デザイン、レタリングデザイン) 理解を深める。(マーク、テーマ、デザインの確認)	□定期考査			
	10	・デザイン表現	・意匠への理解 (デザイン) レタリング文字、仕上げ	□小テスト			
	11	・意匠の学習 (ポスターデザイン)	・意匠の習得、制作の創意工夫、作品鑑賞、講評。	□ノート			
	12	・意匠、鑑賞、制作 用具の使い方、構成 仕上げ、鑑賞、講評		■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他	a	b	c
3	1	・銅版レリーフ制作	・銅版の制作 (彫刻としての半立体の学習)	□定期考査			
	2	(彫刻としての意図)	素材の学習、表現、用具の使い方 (意匠、構成)	□小テスト			
	3	(用具の使い方 素材の学習、構成 意匠、鑑賞、講評)	意匠、知識、仕上げの創意工夫、(素材の理解)	□ノート			
				■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他	a	b	c
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
作品制作から平面・立体の知識、および思考判断を高め、表現力を身につけるよう学習を進めてください。							